

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第18号		
所属	保健学専攻 生涯保健学分野 成人保健学領域	氏名	西澤 公美
学位論文題目	Enhancement of motor skill learning by a combination of ideal model-observation and self-observation.		
論文審査担当者	主査 百瀬 公人 副査 Goh Ah Cheng 、横川 吉晴		
<p>(学位論文審査の結果の要旨)</p> <p>本研究は運動学習における、model-observation と self-observation、および model and self-observation という観察学習方法を用いた時の運動学習効果の違いを明らかにすることを目的としている。これはスポーツにおける技術力向上や患者の治療における日常生活活動能力などの改善に深く関与している運動学習に関する研究である。</p> <p>運動学習場面では、正しいモデルを見せたほうが良いのか、学習者の間違っている動作を見せたほうが良いのか、あるいは正しいモデルと間違った学習者の動作を直接比較するように観察させた方が良いのか、いまだ明らかにはなっていない。</p> <p>本研究では、この違いに着目し、ゴルフスイング動作を用いて3種類の学習方法の影響を検討したものである。結果としては、直後効果はすべての学習法に認められ、さらに、model and self-observation 群と self-observation 群に有意差がみられた。このことは、model and self-observation の方法の有用性を示唆している。一方、self-observation 群の学習効果が有意に低かったことから、初期学習においては正しいモデルは必要になるかもしれないことが示唆された。今後は言語フィードバックの効果との違いなど、複数のフィードバック方法の相乗効果などを明らかにする発展性が考えられる。</p> <p>この研究において、研究計画十分に準備されており、また、倫理に対する配慮も十分されていた。さらに、得られたデータの処理および統計学的手法には問題が無かった。結果の解釈においても論理性が十分にあり問題がなかった。</p> <p>今後、臨床応用が考えられる価値のある研究であり、博士論文に値すると考えられる。</p> <p>以上のことから、本論文は博士論文としての十分な内容と非常に高いレベルの成果を示しており、優秀であると評価できる。</p> <p>以上のように、主査、副査は一致して本論文を学位論文として価値があるものと認めた。</p>			